

1. 海南病院の紹介

当院は愛知県弥富市(名古屋駅から電車で15分の距離)にある540床、31科を有する地域基幹総合病院で、2018年に創立80周年を迎えました。

2016年12月全面改築が終了し、外来・病棟・血液浄化センター・教育研修棟などもすべて新築され、綺麗な環境で診療や教育研修に取り組める状態となっています。



2. 海南病院での腎代替療法、PDへの取り組みの特色

血液浄化センターは、HD / online-HDF 23床、診察室2室(PD診療室を含む)を有し、PD患者様のみでなく、通院および入院HD患者様や腎移植後の患者様も診療し、バランスのとれた腎代替療法を提供しています。「腎代替療法選択外来」も医師・看護師が連携し診察にあたり、PD選択率は約2~3割になっています。

2011年「Kainan PD Project Team」を結成し、腎臓内科医6名、日本看護協会 透析看護認定看護師、日本腹膜透析医学会 CAPD 認定指導看護師を中心に毎月カンファレンスを行い、組織的なチーム医療体制を構築しています。



PD 診察室



HD/HDF エリア

従来からシャント関連手術を行っていましたが、2010年以降はすべてのPD関連手術(SMAP、SPIED、CRF、PWAT、SPD、抜去術)も腎臓内科医が行っています。いままでトラブルはなく、3~4年目の若手腎臓内科医でも保存期から関わっていた主治医が執刀する体制が構築されています。



PD指導は、外来(血液浄化センター)と病棟看護師が連携をとり、オリジナルのパンフレットやDVDを使用し、患者の個別性に応じた教育をおこなっています。



オリジナル患者指導用資材の作成



オリジナル指導用DVD

導入期や合併症入院後は、医師および外来-病棟-訪問看護師が連携し、自宅訪問を行い、高齢者 PD 導入も推進しています。

試験外泊前カンファレンス



外来でも、医師・看護師・管理栄養士が一堂に会し、PD 診療・指導にあたっています。

PD外来継続指導

看護師による在宅療養指導料の獲得



PD外来継続指導



2012 年以降、院内スタッフ教育もすべて医師と看護師で行い、訪問看護ステーションへの指導も行っています。「PD 患者・家族の会」の開催や、東海地方という災害がおきやすい地域でもあり、「PD 患者さんのための災害講習会」も毎年開催しています。

PD ナースカレッジ



PD 患者さんのための災害講習会



- 当院では、「チーム医療」、「患者・家族との SDM (Shared Decision Making)」、「バランスのとれた腎代替療法」を実践し、PD 医療を推進しています。